

太平洋セメント 株式会社 大分工場

ハード、ソフトともに環境を整え 能力を発揮できる仕組みづくりへ

業務部 総務課 課長 **野中 眞澄** さん

住所：津久見市合ノ元町2-1

業種：製造業／従業員数：190人(男性181人・女性9人)

- 2014年度以降Gコース採用における女性採用比率を30%以上とします。
- 2020年までに女性従業員比率を10%以上とします。
- 2020年までに新任管理職登用に占める女性割合10%を目指します。

積極的に女性の職域拡大を

セメント製造の主な原料である石灰石が豊富に採れること、搬送の大型船が入出港できる良港をすぐ近くに有することもあり、全国6工場の中で最も規模が大きいのが大分工場です。ここ大分工場では毎年およそ500万トンのセメントを出荷し、半数近くはオーストラリア等、海外に輸出しています。

弊社では2015年にダイバーシティー推進室を設置し、女性の活躍をはじめとするダイバーシティーの推進が革新的な労働力創出への課題と捉え、積極的に取り組んできました。2016年に策定した女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画により、女性の積極採用や定着を促進。目標とする女性従業員比率

のアップや職域拡大のため、これまで男性のみであった現場に、3年前より地元の津久見高等学校を主に4名の女性を採用しました。

徹底した意見の吸い上げを重視

まずはハード面、ソフト面の双方でいかに働きやすい環境をつくるかを重視し、更衣室やシャワールームなどを新設しました。トイレに関してはこれまで男性用として機能していた設備の一部を女性専用にするだけではなく、安心して使用できるようダイヤル式の鍵を設定。また、60名を超す男性職場に突然入った若い女性従業員が意見するというのは難しいでしょうし、事が起きてからでは手遅れであるハラスメントにも気を遣っています。現場の従業員を4〜5名ずつ集め、業務の様子や問題が起きていないかなどの意見を吸い上げると同時に、女性従業員だけを集めての意見交換も頻繁に行っています。女性従業員には定期的に食事を開いてもらいホットラインを設けるなど、長く安心して働ける環境づくりに力を入れています。

きめ細やかな職場内訓練

現場に採用された4名の女性は、商業系の出身ということもあり、専門知識がゼロからのスタートなので、機械や電気に関しての基本的な知識は、先輩従業員がきめ細やかなOJTを行っています。多方面でのサポートの甲斐があつて現場の女性

従業員に関し、採用がスタートしてから離職者はいませんね。彼女たちは、現在1300機ほどある機械の点検や操作、作業工程を覚えるために努力していますが、ゆくゆくは集中制御室でのオペレーターを目指しています。年に1度、自己申告による希望を聞きますが、やる気と能力次第では本社や支店へ異動して営業をするという道も開けます。現場採用でも総務や経理を担当する部署へ異動することも可能ですし、本人の意向にはできるだけ添いたいと考えています。

さらなる環境づくりを目指して

男性社会であった現場に女性が入ったことで、工場内の清掃が行き届いたり男性が身なりを整えるなど、これまでは見られなかった良い傾向も出てきています。そういった意味でも今後の女性の増員で、さらなる生産性の向上に期待しています。

総務課の事務職に関しては、子育てをしながら働いている従業員がおり、フレックスタイムを導入して保育園の送り時間などに応じて出勤時間を調整しています。一方、製造現場は三交替勤務で操業しているため、フレックスを導入できていないのが現状です。毎年1〜2名は現場の女性従業員を採用していく予定なので、産休や育児休業を終えて復職ということもあるでしょうから、これから制度を充実させていかなければいけないのが課題です。

【取組内容】

「多様な人材の発想、価値観によるイノベーションを促進し、更なる企業価値の向上を目指して」

- ◆ 適正な人材のポートフォリオの構築にむけて、女性の積極採用(アトラクション)と定着(リテンション)を促進します。
- ◆ 生産性の向上と、多様な人材の能力を最大限発揮できる組織を構築するためにワーク・ライフ・マネジメントを推進します。



機械操作など、現場作業に生き生きと取り組む女性社員